

基本計画書

基本計画											
事項		記入欄							備考		
計画の区分		研究科の専攻の設置（国際連携専攻）									
フリガナ 設置者		ヨリガタナ 国立大学法人 滋賀医科大学							〔連携外国大学の設置者〕 マレーシア政府		
フリガナ 大学の名称		ヨリガタナ 滋賀医科大学大学院（Graduate School of Shiga University of Medical Science）							〔連携外国大学の名称〕 The National University of Malaysia （Universiti Kebangsaan Malaysia：UKM）		
大学本部の位置		滋賀県大津市瀬田月輪町							〔連携外国大学の本部の位置〕 所在国：マレーシア 所在地：43600 UKM Bangi, Selangor Darul Ehsan, Malaysia		
大学の目的		医学及び看護学の領域において、優れた研究者及び高度な知識と技術をもつ専門家を養成することを目的とする。									
新設研究科等の目的		エイジングサイエンスの研究者として必要な専門的知識と研究技術を有するとともに、確固たる倫理観を身につけた国際的なリーダーを養成する。									
新設研究科等の概要	新設研究科等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地	〔連携外国大学の組織の名称及び所在地〕 組織の名称：Faculty of Medicine 組織の所在地：Jalan Yaacob Latif, Bandar Tun Razak 56000 Cheras, Kuala Lumpur Malaysia ◇の中の数値は、国際連携専攻を置く研究科の入学定員等	
	医学系研究科（Graduate School of Medicine） 滋賀医科大学・マレーシア国民大学国際連携エイジングサイエンス専攻（SUMS-UKM International Joint Ph.D. Program in Ageing Science）	4年	2<49>	—	8<161>	博士（医学）（Doctor of Philosophy in Medical Science）	医学関係	令和7年10月第1年次	滋賀県大津市瀬田月輪町		
	計		2<49>		8<161>						
同一設置者内における変更状況（定員の移行、名称の変更等）		医学系研究科医学専攻（4年制D）〔定員減〕（△2）（令和7年4月） 医学部医学科〔臨時定員増〕（5）（令和7年4月意見伺い）									
教育課程	新設研究科等の名称	開設する授業科目の総数						修了要件単位数			
	滋賀医科大学・マレーシア国民大学国際連携エイジングサイエンス専攻	講義	演習	実験・実習	計	30単位					
		3科目	2科目	6科目	11科目						
研究科等の名称				専任教員					助手	専任教員以外の教員（助手を除く）	〔連携外国大学との調整等を行う専任教員〕 人数：1名 職位：助教 所属：滋賀医科大学創発的研究センター 【兼任する専任教員数：医学専攻から70人】
				教授	准教授	講師	助教	計			
新設分	医学系研究科滋賀医科大学・マレーシア国民大学国際連携エイジングサイエンス専攻	人 33 (33)	人 37 (37)	人 0 (0)	人 0 (0)	人 70 (70)	人 0 (0)	人 0 (0)	人 0 (0)		
	計	33 (33)	37 (37)	0 (0)	0 (0)	70 (70)	0 (0)	— (—)			
既設分	医学系研究科 医学専攻（博士課程）	55 (55)	49 (49)	45 (45)	0 (0)	149 (149)	0 (0)	3 (3)	【兼任する専任教員数：医学専攻から新設分へ70人、学位の分野：医学関係】		
	看護学専攻（博士前期課程）	11 (11)	3 (3)	3 (3)	0 (0)	17 (17)	0 (0)	0 (0)			
	看護学専攻（博士後期課程）	9 (9)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	6 (6)			
	計	66 (66)	52 (52)	48 (48)	0 (0)	166 (166)	0 (0)	— (—)			
合計		66 (66)	52 (52)	48 (48)	0 (0)	166 (166)	0 (0)	— (—)			

職 種			専 属		その他		計				
事 務 職 員			人 198 (198)		人 249 (249)		人 447 (447)				
技 術 職 員			890 (890)		157 (157)		1047 (1047)				
図 書 館 職 員			5 (5)		1 (1)		6 (6)				
そ の 他 の 職 員			2 (2)		65 (65)		67 (67)				
指 導 補 助 者			0 (0)		0 (0)		0 (0)				
計			1095 (1095)		472 (472)		1567 (1567)				
校 地 等	区 分		専 用		共 用		共用する他の 学校等の専用		計		
	校 舎 敷 地		229,526㎡		0㎡		0㎡		229,526㎡		
	そ の 他		3,492㎡		0㎡		0㎡		3,492㎡		
	合 計		233,018㎡		0㎡		0㎡		233,018㎡		
校 舎			専 用		共 用		共用する他の 学校等の専用		計		
			33,916㎡ (33,916㎡)		0㎡ (0㎡)		0㎡ (0㎡)		33,916㎡ (33,916㎡)		
講義室等・新設研究科等 の専任教員研究室			講義室		実験・実習室		演習室		新設研究科等の 専任教員研究室		
			12室		14室		2室		70室		
図 書 ・ 設 備	新設研究科等の名称		図書 〔うち外国書〕冊		電子図書 〔うち外国書〕冊		学術雑誌 〔うち外国書〕種		電子ジャーナル 〔うち外国書〕種	機械・器具 点	標本 点
	医学系研究科滋賀医科大学・マレーシア 国民大学国際連携エイジングサイエンス 専攻		214,771 [101,162] (214,771 [101,162])		42,177 [34,205] (42,177 [34,205])		9,211 [6,468] (9,211 [6,468])		6,884 [5,173] (6,884 [5,173])	13 (13)	719 (719)
	計		214,771 [101,162] (214,771 [101,162])		42,177 [34,205] (42,177 [34,205])		9,211 [6,468] (9,211 [6,468])		6,884 [5,173] (6,884 [5,173])	13 (13)	719 (719)
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経費の見積り	区 分		開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次		
		教員1人当り研究費等			—	—	—	—	—		
		共同研究費等			—	—	—	—	—		
		図書購入費		—	—	—	—	—	—		
		設備購入費		—	—	—	—	—	—		
	学生1人当り 納付金			第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次			
	— 千円			— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要			—								
既 設 大 学 等 の 状 況	大 学 等 の 名 称 滋賀医科大学										
	学 部 等 の 名 称		修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	収 容 定 員 充 足 率	開設 年度	所 在 地	
			年	人	年次 人	人		倍			
	医学部				2年次						
	医学科		6	95	15	650	学士（医学）	1.03 《1.00》	昭和49 年度		
	看護学科		4	60	—	240	学士（看護学）	1.00	平成6 年度		
	医学系研究科										
	医学専攻博士課程		4	30	—	120	博士（医学）	1.38	昭和56 年度		
看護学専攻 博士前期課程		2	16	—	32	修士（看護学）	1.15	平成10 年度			
看護学専攻 博士後期課程		3	3	—	3	博士（看護学）	1.33	令和6 年度			

附属施設の概要	名 称：医学部附属病院 目 的：患者の健康の回復及びその維持増進を図るため、総合的な診療を行い、もって医学の教育及び研究に資することを目的とする。 所在地：滋賀県大津市瀬田月輪町 設置年月：昭和53年4月 規模等：所在地構内、建物：71,117㎡ 名 称：附属図書館 目 的：教育・研究に必要な図書雑誌並びに情報に関する資料を収集管理し、職員並びに学生の利用に供することを目的とする。 所在地：滋賀県大津市瀬田月輪町 設置年月：昭和54年4月 規模等：所在地構内、建物：1,867㎡ 名 称：動物生命科学研究センター 目 的：学内教育研究施設として、医学に関する実験動物の飼育管理、系統維持、開発及び実験研究等を行うとともに、共同研究の促進を図り、もって医学教育及び研究の向上発展に資することを目的とする。 所在地：滋賀県大津市瀬田月輪町 設置年月：昭和53年6月 規模等：所在地構内、建物：6,782㎡ 名 称：実験実習支援センター 目 的：学内教育研究施設として、医学の教育、研究に必要な設備、機器を総合的に管理することにより、共同研究の効率化を図り、もって本学における医学の教育及び研究の向上、発展に資することを目的とする。 所在地：滋賀県大津市瀬田月輪町 設置年月：昭和57年4月 規模等：所在地構内、建物：3,983㎡ 名 称：神経難病研究センター 目 的：学内教育研究施設として、先端技術を開発応用する学術研究体制を基に国際共同研究を推進し、認知症をはじめとする神経難病の病因・病態解明及び診断・治療法の開発とその臨床応用研究を推進することにより、神経難病の克服等に資することを目的とする。 所在地：滋賀県大津市瀬田月輪町 設置年月：平成4年7月 規模等：所在地構内、建物：549㎡ 名 称：NCD疫学研究センター 目 的：わが国の中心的拠点として生活習慣病・認知症等の非感染性疾患（NCD）に関する最先端の疫学研究を推進し、もって医学及び公衆衛生の発展に資することを目的とする。 所在地：滋賀県大津市瀬田月輪町 設置年月：平成25年4月 規模等：所在地構内、建物：1,358㎡	
----------------	---	--

国立大学法人滋賀医科大学 設置認可等に関わる組織の移行表

令和6年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和7年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
滋賀医科大学				滋賀医科大学				
医学部	2年次			医学部	2年次			
医学科	90	15	615	<u>医学科</u>	<u>95</u>	15	<u>620</u>	臨時定員増5
看護学科	60	—	240	看護学科	60	—	240	
計	150	15	855	計	<u>155</u>	15	<u>860</u>	
滋賀医科大学大学院				滋賀医科大学大学院				
医学系研究科				医学系研究科				
医学専攻(4年制D)	30	—	120	医学専攻(4年制D)	<u>28</u>	—	<u>112</u>	定員変更(△2)
				<u>滋賀医科大学・マレーシア国民 大学国際連携エイジングサイエ ンス専攻(4年制D)</u>	<u>2</u>	—	<u>8</u>	専攻の設置(届出)
看護学専攻(M)	16	—	32	看護学専攻(M)	16	—	32	
看護学専攻(D)	3	—	9	看護学専攻(D)	3	—	9	
計	49		161	計	49		161	

教育課程等の概要（国際連携学科等）																										
（滋賀医科大学・マレーシア国民大学国際連携エイジングサイエンス専攻）																										
科目 区分	授業科目の名称	共同 開設 科目	配当 年次	主要 授業 科目	開設大学	単位数			授業形態			基幹教員等の配置										備考				
						必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	申請大学						連携外国大学						小 計	合 計	
												教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	小 計	教 授 に 相 当 する 教 員	准 教 授 に 相 当 する 教 員	講 師 に 相 当 する 教 員	助 教 に 相 当 する 教 員		助 手 に 相 当 する 教 員			小 計
基礎 基 幹 科 目	医学総合特論		1通～2通		滋賀医科大学	3			○			7	8				15							0	15	オムニバス
	研究手法概論		1通～2通		マレーシア国民大学	4			○								0	8	14	11	1			34	34	オムニバス
	医学・生命倫理学概論		1通～2通		滋賀医科大学	1			○			2					2							0	2	
	日本語と日本文化研究		1通～2通		滋賀医科大学		3			○		2	1				3							0	3	オムニバス
	マレー語とマレーシア文化研究		1通～2通		マレーシア国民大学		3			○		0					0			1				1	1	
	日本における老化学研究		1通～2通		滋賀医科大学	6					○	3	2				5							0	5	オムニバス
	マレーシアにおける老化学研究		1通～2通		マレーシア国民大学	6					○	0					0	3	1					4	4	オムニバス
小計（7科目）			－	－		20	6		－			10	8				18	10	15	12	1			38	56	
究 先 科 端 目 老 化 研	老化の病態科学と社会医学	○	3通～4通		滋賀医科大学・マレーシア国民大学		7				○	9	12				21	1	11					12	33	
	加齢神経科学	○	3通～4通		滋賀医科大学・マレーシア国民大学		7				○	9	7				16	2	3					5	21	
	加齢とがん	○	3通～4通		滋賀医科大学・マレーシア国民大学		7				○	10	11				21	2	2					4	25	
	加齢と生活習慣病	○	3通～4通		滋賀医科大学・マレーシア国民大学		7				○	5	6				11	4	6					10	21	
	小計（4科目）			－	－			28		－			33	36				69	9	22					31	100
合計（11科目）			－	－		20	34		－			33	37				70	15	33	12	1			61	131	
学位		博士（医学）				学位の分野			医学関係																	
卒業・修了要件及び履修方法						開設大学等			開設単位数（必修）			授業期間等														
（滋賀医科大学・マレーシア国民大学国際連携エイジングサイエンス専攻） 【修了要件】 1） 4年以上在学すること 2） 30単位以上（「基礎基幹科目」の各大学開設の必修科目10単位ずつと選択科目 3 単位、共同開設科目「先端老化研究科目」 7 単位）を取得すること 3） 必要な研究指導を受けること 4） 2年次に実施のQE（研究基礎力試験）に合格すること 5） 4年次までに、原則ジャーナルサイテーションレポート（JCR）に収録され、投稿時のインパクト・ファクター（IF）が1.0 以上である学術誌に公表済又は公表予定のエイジングサイエンスに関する筆頭著者である原著論文を提出し、審査を受け、最終試験に合格すること 6） 4年次までに、エイジングサイエンスに関する筆頭著者である原著又はレビュー論文をWOS（Web of Science）登録の学術誌に公表済又は公表予定であること 7） エイジングサイエンスに関する研究成果を少なくとも 1 つの学会で発表すること 【履修方法】 基礎基幹科目の必修科目から20単位、選択科目から3単位、先端老化研究科目の選択科目から7単位を修得し、合計30単位を履修すること。 （マレーシア国民大学） 【修了要件】 1） 2本の論文がWOS登録の学術誌に公表済又は公表予定であること（論文のうち 1 本はレビュー論文でも可） 2） 全必修科目を履修すること 3） 口頭試問に合格し、修正後の学位論文を提出すること 4） 研究成果を少なくとも 1 つの（国内または国際）学会で発表すること						滋賀医科大学			13（10）			1 学年の学期区分				2期										
						マレーシア国民大学			13（10）			1 学期の授業期間				15週										
						共同開設科目			28（0）			1 時限の授業の標準時間				60分（研究手法概論のみ）・90分										

教育課程等の概要（国際連携学科等）																								
（滋賀医科大学・マレーシア国民大学国際連携エイジングサイエンス専攻）（滋賀医科大学）																								
科目 区分	授業科目の名称	共同 開設 科目	配当 年次	主要 授業 科目	開設大学	単位数			授業形態			基幹教員等の配置										備考		
						必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験 ・ 実 習	申請大学						連携外国大学						
												教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	小 計	教 授 に 相 当	准 教 授 に 相 当	講 師 に 相 当	助 教 に 相 当		助 手 に 相 当	小 計
目基 礎 基 幹 科 目	医学総合特論		1通～2通		滋賀医科大学	3			○			7	8				15						オムニバス	
	医学・生命倫理学概論		1通～2通		滋賀医科大学	1			○			2					2							
	日本語と日本文化研究		1通～2通		滋賀医科大学		3			○		2	1				3						オムニバス	
	日本における老化学研究		1通～2通		滋賀医科大学	6					○	3	2				5						オムニバス	
	小計（4科目）		－	－		10	3		－			10	8				18							
究先 科端 目老 化 研	老化の病態科学と社会医学	○	3通～4通		滋賀医科大学・マレーシア国民大学		7				○	9	12				21	1	11				12	33
	加齢神経科学	○	3通～4通		滋賀医科大学・マレーシア国民大学		7				○	9	7				16	2	3				5	21
	加齢とがん	○	3通～4通		滋賀医科大学・マレーシア国民大学		7				○	10	11				21	2	2				4	25
	加齢と生活習慣病	○	3通～4通		滋賀医科大学・マレーシア国民大学		7				○	5	6				11	4	6				10	21
	小計（4科目）		－	－			28		－			33	36				69	9	22				31	100
合計（8科目）						10	31		－			33	37				70	9	22				31	101
学位		博士（医学）				学位の分野						医学関係												
卒業・修了要件及び履修方法						開設大学等						開設単位数（必修）		授業期間等										
（滋賀医科大学・マレーシア国民大学国際連携エイジングサイエンス専攻） 【修了要件】 1）4年以上在学すること 2）30単位以上（「基礎基幹科目」の各大学開設の必修科目10単位ずつと選択科目3単位、共同開設科目「先端老化研究科目」7単位）を取得すること 3）必要な研究指導を受けること 4）2年次に実施のQE（研究基礎力試験）に合格すること 5）4年次までに、原則ジャーナルサイテーションレポート（JCR）に収録され、投稿時のインパクト・ファクター（IF）が1.0以上である学術誌に公表済又は公表予定のエイジングサイエンスに関する筆頭著者である原著論文を提出し、審査を受け、最終試験に合格すること 6）4年次までに、エイジングサイエンスに関する筆頭著者である原著又はレビュー論文をWOS（Web of Science）登録の学術誌に公表済又は公表予定であること 7）エイジングサイエンスに関する研究成果を少なくとも1つの学会で発表すること 【履修方法】 基礎基幹科目の必修科目から20単位、選択科目から3単位、先端老化研究科目の選択科目から7単位を修得し、合計30単位を履修すること。 （マレーシア国民大学） 【修了要件】 1）2本の論文がWOS登録の学術誌に公表済又は公表予定であること（論文のうち1本はレビュー論文でも可） 2）全必修科目を履修すること 3）口頭試問に合格し、修正後の学位論文を提出すること 4）研究成果を少なくとも1つの（国内または国際）学会で発表すること						滋賀医科大学						13（10）		1学年の学期区分				2期						
						共同開設科目						28（0）		1学期の授業期間				15週						
														1時限の授業の標準時間				90分						

教育課程等の概要（国際連携学科等）																											
（滋賀医科大学・マレーシア国民大学国際連携エイジングサイエンス専攻）（マレーシア国民大学）																											
科目 区分	授業科目の名称	共同 開設 科目	配当 年次	主要 授業 科目	開設大学	単位数			授業形態			基幹教員等の配置										備考					
						必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実験・ 実習	申請大学						連携外国大学						合 計			
												教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手	小 計	教 授 に 相 当	准 教授 に 相 当	講 師 に 相 当	助 教 に 相 当		助 手 に 相 当		小 計		
基礎 科目 基 幹	研究手法概論		1通～2通		マレーシア国民大学	4			○								8	14	11	1		34	34	オムニバス			
	マレー語とマレーシア文化研究		1通～2通		マレーシア国民大学		3			○									1			1					
	マレーシアにおける老化学研究		1通～2通		マレーシア国民大学	6					○						3	1	1			4	4	オムニバス			
	小計（3科目）		－	－		10	3			－							10	15	12	1		38	38				
先端 科目 老 化 研	老化の病態科学と社会医学	○	3通～4通		滋賀医科大学・マレーシア国民大学		7				○	9	12				21	1	11			12	33				
	加齢神経科学	○	3通～4通		滋賀医科大学・マレーシア国民大学		7				○	9	7				16	2	3			5	21				
	加齢とがん	○	3通～4通		滋賀医科大学・マレーシア国民大学		7				○	10	11				21	2	2			4	25				
	加齢と生活習慣病	○	3通～4通		滋賀医科大学・マレーシア国民大学		7				○	5	6				11	4	6			10	21				
	小計（4科目）		－	－			28			－		33	36				69	9	22			31	100				
合計（7科目）								10	31			－		33	36				69	15	33	12	1		61	130	
学位		博士（医学）				学位の分野					医学関係																
卒業・修了要件及び履修方法						開設大学等					開設単位数（必修）		授業期間等														
（滋賀医科大学・マレーシア国民大学国際連携エイジングサイエンス専攻） 【修了要件】 1）4年以上在学すること 2）30単位以上（「基礎基幹科目」の各大学開設の必修科目10単位ずつと選択科目3単位、共同開設科目「先端老化研究科目」7単位）を取得すること 3）必要な研究指導を受けること 4）2年次に実施のQE（研究基礎力試験）に合格すること 5）4年次までに、原則ジャーナルサイテーションレポート（JCR）に収録され、投稿時のインパクト・ファクター（IF）が1.0以上である学術誌に公表済又は公表予定のエイジングサイエンスに関する筆頭著者である原著論文を提出し、審査を受け、最終試験に合格すること 6）4年次までに、エイジングサイエンスに関する筆頭著者である原著又はレビュー論文をWOS（Web of Science）登録の学術誌に公表済又は公表予定であること 7）エイジングサイエンスに関する研究成果を少なくとも1つの学会で発表すること 【履修方法】 基礎基幹科目の必修科目から20単位、選択科目から3単位、先端老化研究科目の選択科目から7単位を修得し、合計30単位を履修すること。						マレーシア国民大学					13（10）		1 学年の学期区分				2期										
						共同開設科目					28（0）		1 学期の授業期間				15週										
													1 時限の授業の標準時間				60分（研究手法概論のみ）・90分										
（滋賀医科大学） 【修了要件】 4年以上在学し、定められた授業科目について、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたい え、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績 を上げた者については、3年以上在学すれば足りるものとする。																											

教 育 課 程 等 の 概 要																	
(滋賀医科大学大学院医学系研究科医学専攻)																	
科目 区分	授業科目の名称		配当年次	主要授 業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
					必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	基 幹 教員以外 の教員 (助手を除く)	
専門基礎科目	共通	医学総合特論Ⅰ	1・2前		3			○			7	1					オムニバス
		医学総合特論Ⅱ	1・2後		3			○			9		1				オムニバス
		テクニカルセミナー	1・2前		2				○		1	1					オムニバス ・ 集中
		医学・生命倫理学概論	1・2前		1			○			1						
		疫学・医療統計学概論	1・2前		1			○			1						
		基礎と臨床の融合セミナーⅠ	1・2前		2			○			3						オムニバス
		基礎と臨床の融合セミナーⅡ	1・2後		2			○			3						オムニバス
		小計 (7科目)			14	0	0	－			20	2	1				
コース科目	先端医学科	バイオニアセミナー	1・2前		2				○		4						
		先端医学研究技法	1・2後		2					○	1	1					
		小計 (2科目)			4	0	0	－			5	1					
	高度医療人	臨床医学研究総論	1・2前		2			○			1						
		疫学・医療統計学	1・2前		1					○	1	2					
		医療倫理学法制総論	1・2後		1			○			4						
		小計 (3科目)			4	0	0	－			5	2					
	学際的医療人	バイオ医療学	1・2前		1			○			2	1					
		ゲノムサイエンス	1・2後		1			○			4						
		バイオインファマティクス	1・2前		1			○			2	3					
		感染症学総論	1・2前		1			○			2	1					
		小計 (4科目)	－	－	4	0	0	－			10	4					
		細胞生理学実習 A	1～3前			2				○	4	1					
		細胞生理学実習 B	1～3後			2				○	4	1					
		解剖生理学実習 A	1～3前			2				○	1	2	1				
		解剖生理学実習 B	1～3後			2				○	1	2	1				
		幹細胞学実習 A	1～3前			2				○	4	2					
		幹細胞学実習 B	1～3後			2				○	4	2					
		システム神経科学実習 A	1～3前			2				○	1						
		システム神経科学実習 B	1～3後			2				○	1						
		遺伝子情報学実習 A	1～3前			2				○	3						
		遺伝子情報学実習 B	1～3後			2				○	3						
		分子細胞生物学実習 A	1～3前			2				○	5	2					
		分子細胞生物学実習 B	1～3後			2				○	5	2					
		分子神経形態学実習 A	1～3前			2				○	3	1					
		分子神経形態学実習 B	1～3後			2				○	3	1					
		病理診断学実習 A	1～3前			2				○	3	2					
		病理診断学実習 B	1～3後			2				○	3	2					
		病理学・免疫学実習 A	1～3前			2				○	4						
		病理学・免疫学実習 B	1～3後			2				○	4						
		分子薬理学実習 A	1～3前			2				○	1	2					
		分子薬理学実習 B	1～3後			2				○	1	2					
		産業医学実習 A	1～3前			2				○		1					
		産業医学実習 B	1～3後			2				○		1					
		法医学実習 A	1～3前			2				○	1	1					
		法医学実習 B	1～3後			2				○	1	1					
		循環器学実習 A	1～3前			2				○	3	3	3				
		循環器学実習 B	1～3後			2				○	3	3	3				
		呼吸器内科学実習 A	1～3前			2				○	2	2	1				
		呼吸器内科学実習 B	1～3後			2				○	2	2	1				
		消化器内科学実習 A	1～3前			2				○		1	2				
		消化器内科学実習 B	1～3後			2				○		1	2				
		血液内科学実習 A	1～3前			2				○	1		1				
		血液内科学実習 B	1～3後			2				○	1		1				
		内分泌代謝・腎臓内科学実習 A	1～3前			2				○	1		1				
		内分泌代謝・腎臓内科学実習 B	1～3後			2				○	1		1				
		脳神経内科学実習 A	1～3前			2				○	1	1	1				
		脳神経内科学実習 B	1～3後			2				○	1	1	1				
		小児科学実習 A	1～3前			2				○	1	1	2				
		小児科学実習 B	1～3後			2				○	1	1	2				
		精神医学実習 A	1～3前			2				○	2	1					

実習科目	共通	精神医学実習 B	1～3後		2				○	2	1						
		皮膚科学実習 A	1～3前		2				○	1		1					
		皮膚科学実習 B	1～3後		2				○	1		1					
		消化器・乳腺・小児・一般外科学実習 A	1～3前		2				○	2	1	4					
		消化器・乳腺・小児・一般外科学実習 B	1～3後		2				○	2	1	4					
		心臓血管外科学実習 A	1～3前		2				○	1		1					
		心臓血管外科学実習 B	1～3後		2				○	1		1					
		呼吸器外科実習 A	1～3前		2				○		1						
		呼吸器外科実習 B	1～3後		2				○		1						
		整形外科科学実習 A	1～3前		2				○	6	2	1					
		整形外科科学実習 B	1～3後		2				○	6	2	1					
		脳神経外科学実習 A	1～3前		2				○	1	1	1					
		脳神経外科学実習 B	1～3後		2				○	1	1	1					
		耳鼻咽喉科・頭頸部外科学実習 A	1～3前		2				○		1	2					
		耳鼻咽喉科・頭頸部外科学実習 B	1～3後		2				○		1	2					
		産科学・婦人科学実習 A	1～3前		2				○	1	1	1					
		産科学・婦人科学実習 B	1～3後		2				○	1	1	1					
		泌尿器科学実習 A	1～3前		2				○	1	1						
		泌尿器科学実習 B	1～3後		2				○	1	1						
		眼科学実習 A	1～3前		2				○			1					
		眼科学実習 B	1～3後		2				○			1					
		麻酔学実習 A	1～3前		2				○	1		3					
		麻酔学実習 B	1～3後		2				○	1		3					
		放射線医学実習 A	1～3前		2				○	2	2	3					
		放射線医学実習 B	1～3後		2				○	2	2	3					
		歯科口腔外科学実習 A	1～3前		2				○			2					
		歯科口腔外科学実習 B	1～3後		2				○			2					
		臨床検査医学実習 A	1～3前		2				○	3	3						
		臨床検査医学実習 B	1～3後		2				○	3	3						
		救急集中治療医学実習 A	1～3前		2				○	1	1	1					
		救急集中治療医学実習 B	1～3後		2				○	1	1	1					
		腫瘍医学実習 A	1～3前		2				○	6	1	2					
		腫瘍医学実習 B	1～3後		2				○	6	1	2					
		プライマリ・ケア医学実習 A	1～3前		2				○	1							
		プライマリ・ケア医学実習 B	1～3後		2				○	1							
		形成再建外科学実習 A	1～3前		2				○	1		1					
		形成再建外科学実習 B	1～3後		2				○	1		1					
		臨床腫瘍薬理学実習 A	1～3前		2				○	1	1						
		臨床腫瘍薬理学実習 B	1～3後		2				○	1	1						
		分子病態神経科学実習 A	1～3前		2				○	1							
		分子病態神経科学実習 B	1～3後		2				○	1							
		神経病態学実習 A	1～3前		2				○	2	3						
		神経病態学実習 B	1～3後		2				○	2	3						
		神経薬理学実習 A	1～3前		2				○		1						
		神経薬理学実習 B	1～3後		2				○		1						
		神経科学研究実習 A	1～3前		2				○	1							
		神経科学研究実習 B	1～3後		2				○	1							
		実験動物学実習 A	1～3前		2				○	1	1						
		実験動物学実習 B	1～3後		2				○	1	1						
		疫学研究実習 A	1～3前		2				○	1	2						
		疫学研究実習 B	1～3後		2				○	1	2						
		生命情報学実習 A	1～3前		2				○	1							
		生命情報学実習 B	1～3後		2				○	1							
		再生医療学実習 A	1～3前		2				○	1							
		再生医療学実習 B	1～3後		2				○	1							
		小計（94科目）	－	－	0	188	0	－		46	34	32					
		（研究指導）	－	－	－	－	－	－	－	50	49	44					
		小計	－	－	－	－	－	－		50	49	44					
合計（110科目）			－	－	26	188	0	－		55	49	45					
学位又は称号		博士（医学）				学位又は学科の分野				医学関係							
卒業要件及び履修方法										授業期間等							
【修了要件】 4年以上在学し、定められた授業科目について、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、3年以上在学すれば足りるものとする。 【履修方法】 1年次、2年次、3年次において、全コース共通必修科目から14単位、コース科目の必修科目から4単位、実習科目から12単位以上、計30単位以上を履修するものとする。										1学年の学期区分			2学期				
										1学期の授業期間			15週				
										1時限の授業の標準時間			90分				

教 育 課 程 等 の 概 要																	
(滋賀医科大学大学院医学系研究科医学専攻)																	
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員 (助手を除く) 以外の教員		
共通科目	医学総合特論Ⅰ	1～3前		3			○			7	1					オムニバス オムニバス オムニバス・集中	
	医学総合特論Ⅱ	1～3後		3			○			9		1					
	テクニカルセミナー	1～3前		2				○		1	1						
	医学・生命倫理学概論	1～3前		1			○			1							
	疫学・医療統計学概論	1～3前		1			○			1							
	基礎と臨床の融合セミナーⅠ	1～3前			2			○		3							
	基礎と臨床の融合セミナーⅡ	1～3後			2			○		3							
	小計（7科目）			10	4	0	－			20	2	1					
がん全コース	がん基礎学	1後		2			○			3							
	ゲノム医学	1後		2			○			1							
	緩和ケア学	1後		2			○			2							
	腫瘍薬剤学	1後			2		○			2	1						
	放射線腫瘍学	1後			2		○			1		1					
	小計（5科目）			6	4	0	－			4	1	1					
医療人養成コース 複合的がん個別化医療を推進する	がん薬物療法学総論	1後		2			○			4		1					
	がん薬物療法学特論	1後		4				○		4		1					
	がん薬物療法学実習	2～3後			2				○	4		1					
	臨床腫瘍学実習	2～3後			2				○	2	1						
	がんゲノム医療学実習	2～3前			2				○	2							
	遺伝統計学実習	2～3後			2				○	1	1						
	小計（6科目）	－	－	6	8	0	－			6	2	1					
薬剤師養成コース 先制がん医療を担う	臨床腫瘍薬剤学総論	1前		2			○			1	1						
	臨床腫瘍薬剤学特論	1後		4				○		1	1						
	臨床腫瘍薬剤学実習	2～3前			2				○	1	1						
	臨床腫瘍学実習	2～3後			2				○	2	1						
	がんゲノム医療学実習	2～3前			2				○	2							
	遺伝統計学実習	2～3後			2				○	1	1						
	小計（6科目）			6	8	0	－			4	3						
臨床遺伝専門医養成コース ゲノム医療を担う	小児科学総論	1前		2			○			1	1						
	小児科学特論	1後		4				○		1	1						
	小児科学実習（がん）	2～3後			2				○	1	1						
	臨床腫瘍学実習	2～3後			2				○	2	1						
	がんゲノム医療学実習	2～3前			2				○	2							
	遺伝統計学実習	2～3後			2				○	1	1						
	小計（6科目）			6	8	0	－			4	3						
がん診療連携拠点病院 がん診療環境の整備と推進	がん病態制御学総論	1前		2			○			2		1					
	がん病態制御学特論	1後		4				○		2	1	1					
	がん病態制御学実習	2～3後			2				○	1		2					
	消化器外科学実習	2～3後			2				○	1		2					
	乳腺・一般外科学実習	2～3前			2				○	2	1						
	小計（5科目）			6	6	0	－			2	1	2					
地域がん診療連携拠点病院 がん診療環境の整備と推進	放射線科学総論	1前		2			○			1	1	2					
	放射線科学特論	1前		4				○		1	1	2					
	放射線科学実習	2～3後			2				○	1	1	1					
	放射線腫瘍学・画像応用治療学実習	2～3後			2				○	1		1					
	高精度放射線治療学実習	2～3後			2				○	1		1					
	腫瘍診断学実習	2～3後			2				○	1							
	小計（6科目）	－	－	6	8	0	－			2	1	2					
	（研究指導）	－	－	－	－	－	－	－	－	5							
	小計	－	－	－	－	－	－			5							
合計（41科目）		－	－	46	46	0	－			26	8	5					
学位又は称号		博士（医学）			学位又は学科の分野				医学関係								
卒業要件及び履修方法								授業期間等									
【修了要件】 4年以上在学し、定められた授業科目について、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、3年以上在学すれば足りるものとする。 【履修方法】 共通区分から必修科目10単位、選択必修科目2単位、がん全コース必修科目から6単位、選択科目から2単位以上、各コースのコース必修科目から6単位、コース選択科目から4単位以上を履修するものとする。								1学年の学期区分				2学期					
								1学期の授業期間				15週					
								1時限の授業の標準時間				90分					

教 育 課 程 等 の 概 要																
(滋賀医科大学大学院医学系研究科医学専攻)																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員 (助手を除く)	
コア領域	公衆衛生学概論	1通		2			○			1						
	保健医療行政論	2通		2			○			1						
	疫学研究概論	1通		2			○			1						
	臨床試験概論	1通		2			○			2						
	生物統計学概論	1通		2			○				1					
	NCD疫学総論	1通		2			○			4	2					
	社会疫学総論	2通		2			○			1						
	アジア文化・倫理の理解	1通		2				○		1						
	発表技法と熟議	2通		2				○		1	2					
	小計（9科目）			18	0	0	－			8	3					
領支 域援	NCD臨床総論	1通			2		○			7	1					
	基礎医学から地域医療への展開	2通			2		○			10	2				3	
	産業医学	1通			2			○			1					
	小計（3科目）			0	6	0	－			17	4				3	
実習	研究計画の鍛錬	2通		4					○	1	2					
	学外研究機関短期研修	2通			2				○	1	2					
	健康関連産業研修	2通			2				○	1						
	アジア・フィールドワーク	3通			2				○	1	2					
	学外武者修行	3通		4					○	1						
	小計（5科目）	－	－	8	6	0	－			1	2					
（研究指導）		－	－	－	－	－	－	－	1	2						
小計		－	－	－	－	－	－			1	2					
合計（17科目）		－	－	26	12	0	－			21	7				3	
学位又は称号		博士（医学）			学位又は学科の分野				医学関係							
卒業要件及び履修方法									授業期間等							
【修了要件】 4年以上在学し、定められた授業科目について、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、3年以上在学すれば足りるものとする。 【履修方法】 1年次、2年次、3年次、4年次において、コア領域の必修科目から18単位、支援領域の選択科目から2単位、実習の必修科目から8単位、選択科目から2単位以上を修得し、合計30単位以上を履修するものとする。									1学年の学期区分				2学期			
									1学期の授業期間				15週			
									1時限の授業の標準時間				90分			

教 育 課 程 等 の 概 要																	
(滋賀医科大学大学院医学系研究科医学専攻)																	
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外 の教員 (助手を除く)		
全 共 通 コース	臨床法医学実習	1通		4					○	1	1						
	個人識別学	1通		4			○			1	1						
	法医画像診断学	1通		4				○		1	1						
	小計（3科目）			12	0	0	－			1	1						
法 医 臨 床 医 養 成 コース	生体鑑定学実習	2通～3通		4					○	1	1						
	グリーフケア実習	2通～3通		4					○	1	1						
	法医病理学実習	2通～3通			4				○	1	1						
	法中毒学	2通～3通			4		○			1	1						
	エキスパート法医学実習	2通～3通			4				○	1	1						
	犯罪学特論	2通～3通			2		○			1	1						
	小計（6科目）			8	14	0	－			1	1						
法 歯 科 医 養 成 コース	顎顔面外傷実習	2通～3通		4					○	1	1						
	法歯学	2通～3通		4					○	1	1						
	生体鑑定学実習	2通～3通			4				○	1	1						
	DNA鑑定実習	2通～3通			4				○	1	1						
	法中毒学	2通～3通			4		○			1	1						
	犯罪学特論	2通～3通			2		○			1	1						
	小計（6科目）			8	14	0	－			1	1						
法 医 専 門 医 養 成 コース	エキスパート法医学実習	2通～3通		4					○	1	1						
	法中毒学	2通～3通		4			○			1	1						
	外傷学特論	2通～3通			4		○			1	1						
	法医病理学実習	2通～3通			4				○	1	1						
	DNA鑑定実習	2通～3通			4				○	1	1						
	法医臨床検査実習	2通～3通			2				○	1	1						
	小計（6科目）	－	－	8	14	0	－			1	1						
	（研究指導）	－	－	－	－	－	－	－	1	1							
	小計	－	－	－	－	－	－			1	1						
合計（21科目）		－	－	36	42	0	－			1	1						
学位又は称号		博士（医学）			学位又は学科の分野				医学関係								
卒業要件及び履修方法									授業期間等								
【修了要件】 4年以上在学し、定められた授業科目について、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、3年以上在学すれば足りるものとする。 【履修方法】 全コース共通必修科目から12単位、コース必修科目から8単位、コース選択科目から10単位以上、合計30単位以上を履修するものとする。									1学年の学期区分				2学期				
									1学期の授業期間				15週				
									1時限の授業の標準時間				90分				

授 業 科 目 の 概 要 （ 国 際 連 携 学 科 等 ）					
（滋賀医科大学・マレーシア国民大学国際連携エイジングサイエンス専攻）					
科目 区分	開設大学	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
基礎 基幹 科目	滋賀医科大学	医学総合特論		医学研究者として必要な専門的知識と研究技術を修得するため、医学生命科学分野の研究における専門的知識、研究技術、基本的な方法論を教授する。その上で、基礎医学分野の進歩から臨床医学への応用の意義や社会科学、行動科学を正しく理解する。各講義においては、各専門分野の研究者から最新の研究成果について教授する。また、基礎医学研究や臨床医学の場での情報交流や発表において必要となる科学的修練や熟練法を解説する。研究成果が医学を含む科学の発展に真に貢献し、社会的に信頼されるためには、医学倫理、研究倫理に則った研究実施が必須である。したがって、これらの倫理について十分に学修して理解し、身につけた倫理観をもとに自立して研究を遂行できるようにする。 （オムニバス方式／全22回） （1 石垣 診祐／2回） Alzheimer病と他の主要疾患の基本病態や治療法開発に通底する基本的かつ根源的な問いについて講義を行う。 （2 芦原 貴司／1回） 文献検索と学術情報リソースについて講義を行う。 （3 扇田 久和／1回） がん、循環器疾患におけるシグナル伝達機構について講義を行う。 （3 扇田 久和・6 加藤 穰／1回） 英文での医学論文作成について講義を行う。 （4 伊藤 靖／2回） ・基礎医学の研究技法と最新の研究成果について講義を行う。 ・霊長類モデルを用いた感染症研究について講義を行う。 （5 依馬 正次／1回） 実験動物と動物実験の倫理について講義を行う。 （6 加藤 穰／1回） 研究倫理について講義を行う。 （7 古荘 義雄／1回） ナノ科学と医用材料について講義を行う。 （34 早川 晃一／1回） 自身の研究の進め方を考える上での手がかりとすべく、医療イノベーション推進のための研究戦略について講義を行う。 （35 柳沢 大治郎／1回） 研究倫理について講義を行う。 （36 守村 敏史／1回） 動物生命科学研究センターにおける実験動物の取扱いについて講義を行う。 （37 朝比奈 欣治／6回） ・免疫組織化学について、講義を行う。 ・Magnetic Resonance Imaging (MRI)を用いた動物のイメージングについて講義を行う。 ・共焦点顕微鏡とその使用方法について講義を行う。 ・核磁気共鳴分光法と質量分析法の原理と活用方法について講義を行う。 ・フローサイトメーターとセルソーターの活用法について講義を行う。 ・細胞培養について講義を行う。 （38 里岡 大樹／1回） 適応免疫の動態について講義を行う。 （39 大野 美紀子／1回） ナルディライジンの同定から、遺伝子改変動物の作製・表現型解析、動物モデルや臨床検体を用いた疾患における役割の検証について講義を行う。 （40 門田 文／1回） 循環器疾患予防のための疫学的研究について講義を行う。 （41 成瀬 延康／1回） ナノテクノロジーについて講義を行う。	オムニバス方式
	マレーシア国民大学	研究手法概論		医学研究者として必要な専門的知識と研究技術を修得するため、医学分野の研究において、科学的かつ体系的な方法論に基づいて適切な研究計画書を作成するスキルを身につける。研究タイトル、目的、デザイン、リサーチクエスション、仮説、正当化など、研究調査に関する理解を深め、研究調査におけるサンプリング方法や統計分析についても概観し、文献講読や学術雑誌の評価、科学的な文章作成に関する知識についても学修する。また、研究倫理についての十分な知識と倫理観を学修する。 （オムニバス方式／全40回） （1 Suzana Makpol／1回） 研究目的について講義を行う。 （8 Tan Geok Chin／2回） ・論文執筆入門について講義を行う。 ・査読および修正について講義を行う。	オムニバス方式

科目 区分	開設大学	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
基礎 基幹 科目				(10 Zaleha Md Isa／1回) サンプリングについて、講義を行う。 (11 Shamsul Azhar Shah／1回) サンプルサイズについて、講義を行う。 (12 Mohd Shahrir Mohamed Said／4回) ・同意書について講義を行う。 ・試験対象者の情報について講義を行う。 ・ヒトを対象とした研究における倫理について講義を行う。 ・研究の承認申請について講義を行う。 (13 Sharifa Ezat Wan Puteh／1回) 単変量解析について講義を行う。 (14 Cheah Fook Choe／1回) 盗用などの研究倫理について講義を行う。 (15 Mohd Rizal Abdul Manaf／1回) 統計解析総論について講義を行う。 (21 Chin Kok Yong／1回) 批判的評価について講義を行う。 (23 Tan Jen Kit／1回) 研究手法総論について講義を行う。 (27 Jayakumar A/L Murthy／1回) 文献レビューについて講義を行う。 (38 Ani Amelia Zainuddin／1回) 研究計画概論について講義を行う。 (39 Ixora Kamisan @ Atan／2回) ・横断研究について講義を行う。 ・横断研究Q&Aセッション (40 Law Zhe Kang／1回) 症例対照研究について講義を行う。 (41 Syahrul Sazliana Shaharir／1回) コホート研究について講義を行う。 (42 Tan Chai Eng／1回) 定性的研究について講義を行う。 (43 Nani Harlina Md Latar／2回) ・実験的研究・臨床試験について講義を行う。 ・臨床試験における方法の記述について講義を行う。 (44 Kamisah Yusof／1回) 研究の妥当性について講義を行う。 (45 Mohd Rohaizat Hassan／1回) 二変量解析について講義を行う。 (46 Nazarudin Safian／1回) 重回帰について講義を行う。 (47 Mohd Fauzi Mh Busra／1回) 研究計画書の執筆と参照スタイルについて講義を行う。 (48 Rosnah Sutan／1回) パラメトリックおよびノンパラメトリック検定について講義を行う。 (49 Isma Liza Mohd Isa／1回) 研究主題の決定方法について講義を行う。 (50 Nadiyah Sulaiman／1回) 研究目的の決定方法について講義を行う。 (51 Manira Maarof／1回) 課題の提示について講義を行う。 (52 Faiz Daud／1回) 観察法の記述について講義を行う。 (53 Zulkarnain Md Idris／1回) 研究のフローチャートと概念的枠組みについて講義を行う。 (54 Mohamad Nurman Yaman／1回) 質問表の計画と検証について講義を行う。 (55 Anisah Nordin／1回) 動物実験における倫理について講義を行う。 (56 Shalisah Sharip／1回) 学術雑誌の選択について講義を行う。 (57 Law Jia Xian／1回) 研究仮説について講義を行う。	

科目区分	開設大学	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
基礎基幹科目	マレーシア国民大学	研究手法概論		(58 Fazlina Nordin／1回) 実験室における方法の記述について講義を行う。 (59 Nur Atiqah Haizum／1回) プレゼンテーションスキルについて講義を行う。 (61 Azlan Mohamad Hamzah／1回) 情報検索について講義を行う。	
	滋賀医科大学	医学・生命倫理学概論		医学・生命科学の研究を行うに際しての生命倫理の原則的考え方を学修し、人間の尊厳・人権の理解に係わる倫理的な問題を理解する。特に、Principles of Biomedical Ethics (Beauchamp TL & Childress JF著) で提唱されている「生命倫理の4原則」(Respect for autonomy, non-maleficence, beneficence, justice) に関する十分な理解が必要である。	
	滋賀医科大学	日本語と日本文化研究		自国とは異なるアジアの国・民族の歴史や文化を学び、多様性を理解するための一環として、日本語及び日本の文化・社会のあり方について幅広く学修する。また、国際共同研究を行うに際して、日本での研究生活で必要となる実践的日本語を身につける。日本語の語彙・文法等の言語知識を学び、座学、グループワーク、プレゼンテーションなどを通して、自身の経験や考えを表現する能力を涵養するほか、日本の文化および社会について理解を深める。教員は必要に応じて英語を用いる。 (オムニバス方式／全23回) (6 加藤 穰／15回) 語学について演習を行う。 (8 大北 全俊／4回) 社会文化について演習を行う。 (34 早川 晃一／4回) 企業文化について演習を行う。	オムニバス方式
	マレーシア国民大学	マレー語とマレーシア文化研究		自国とは異なるアジアの国・民族の歴史や文化を学び、多様性を理解するための一環として、マレー語及びマレーシアの文化・社会のあり方について幅広く学修する。また、国際共同研究を行うに際して、マレーシアでの研究生活で必要となる実践的マレー語を身につける。 マレー語の語彙・文法等の言語知識を学び、座学、グループワーク、プレゼンテーションなどを通して、自身の経験や考えを表現する能力を涵養するほか、マレーシアの文化および社会について理解を深める。教員は必要に応じて英語を用いる。	
	滋賀医科大学	日本における老化学研究		超高齢社会を迎えた日本における社会的影響、その社会的影響に係わる身体機能の低下などについて研究し、多くの高齢者が傷病なく健康で自立して生活できる方策などに関する新たな知見を探索する。また、エイジングサイエンスの先行研究に関して幅広くその背景を理解し、その研究分野に関する洞察を深めるため、レビュー論文の作成に取り組む。 (オムニバス方式／全45回) (3 扇田 久和／5回) 上記目的に応じた分子病態生化学について指導を行う。 (6 加藤 穰／5回) 上記目的に応じた医療文化及び生命倫理について指導を行う。 (10 縣 保年／25回) 上記目的に応じた分子生理化学について指導を行う。 (37 朝比奈 欣治／5回) 上記目的に応じた肝臓疾患について指導を行う。 (38 里岡 大樹／5回) 上記目的に応じた生物学について指導を行う。	オムニバス方式
	マレーシア国民大学	マレーシアにおける老化学研究		経済発展に伴う平均寿命の延伸で高齢者人口が急増しているマレーシアにおける社会的影響、その社会的影響に係わる身体機能の低下などについて研究し、多くの高齢者が傷病なく健康で自立して生活できる方策などに関する新たな知見を探索する。また、エイジングサイエンスの先行研究に関して幅広くその背景を理解し、その研究分野に関する洞察を深めるため、レビュー論文の作成に取り組む。 (オムニバス方式／全45回) (1 Suzana Makpol／24回) 上記目的に応じた生化学について指導を行う。 (4 Norfilza Mohd Mokhtar／7回) 上記目的に応じた生理学について指導を行う。 (6 Norlaila Mustafa／7回) 上記目的に応じた内分泌内科学について指導を行う。 (28 Rabani Remli／7回) 上記目的に応じた神経学について指導を行う。	オムニバス方式

科目 区分	開設大学	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
先端 老化 研究 科目	滋賀医科大学・マレーシア 国民大学	老化の病態科学 と社会医学		アジア地域における高齢化問題の現状について学修し、エイジングサイエンスに関する研究成果を国際学術誌に発表するため、遺伝子・タンパク質といった分子レベルから、細胞・組織、個体レベルまで、加齢によって生じる変化を解析し、その結果として生じる疾患の病態を解析する。また、加齢によって引き起こされる交通事故や労働災害のメカニズムを解析し、その防止策を検討する。各教員は、それぞれの専門領域における研究の背景から最新の研究展開等を教授するとともに実験・実習を行い、学生に対して各専門領域における最新の研究論文の精読も課す。 【滋賀医科大学】 (4 伊藤 靖) 疾患制御病態学について指導を行う。 (5 依馬 正次) 幹細胞・ヒト疾患モデルについて指導を行う。 (6 加藤 穰) 医療文化及び生命倫理について指導を行う。 (7 古荘 義雄) 化学について指導を行う。 (8 大北 全俊) 哲学・倫理学について指導を行う。 (11 森田 真也) 薬学について指導を行う。 (12 一杉 正仁) 法医学について指導を行う。 (13 伊藤 俊之) 消化器内科学について指導を行う。 (14 塩見 直人) 救急集中治療医学について指導を行う。 (36 守村 敏史) ヒト疾患モデルについて指導を行う。 (37 朝比奈 欣治) 肝臓疾患について指導を行う。 (38 里岡 大樹) 生物学について指導を行う。 (41 成瀬 延康) 物理学について指導を行う。 (42 築山 智之) 発生工学、生殖・幹細胞生物学について指導を行う。 (43 本山 一隆) データサイエンスと数値シミュレーションについて指導を行う。 (44 川北 素子) データサイエンスについて指導を行う。 (45 小島 隆次) 老年心理学について指導を行う。 (46 石垣 宏仁) 疾患制御病態学について指導を行う。 (47 池田 義人) 薬学について指導を行う。 (48 中村 磨美) 法医学について指導を行う。 (49 北原 照代) 衛生学について指導を行う。 【マレーシア国民大学】 (1 Suzana Makpol) 生化学について指導を行う。 (16 Goon Jo Aan) 生化学について指導を行う。 (17 Saharuddin Ahmad) 家庭医学について指導を行う。 (18 Azman Abdullah) 薬理学について指導を行う。 (19 Hashim Embong) 救急医学について指導を行う。	共同開設科目

科目区分	開設大学	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
先端老化研究科目	滋賀医科大学・マレーシア国民大学	老化の病態科学と社会医学		(20 Aznida Firzah Abdul Aziz) 家庭医学について指導を行う。 (21 Chin Kok Yong) 薬理学について指導を行う。 (22 Ahmad Khaldun Ismail) 救急医学について指導を行う。 (23 Tan Jen Kit) 生化学について指導を行う。 (24 Norliza Muhammad) 薬理学について指導を行う。 (25 Badrul Akmal Hisham Md Yusoff) 整形外科学について指導を行う。 (26 Tan Toh Leong) 救急医学について指導を行う。	共同開設科目
	滋賀医科大学・マレーシア国民大学	加齢神経科学		アジア地域における高齢化問題の現状について学修し、エイジングサイエンスに関する研究成果を国際学術誌に発表するため、加齢によって増加する認知症、神経変性疾患、脳血管障害などを対象に、その病態を解析するとともに、その予防法、診断法、治療法について検討する。各教員は、それぞれの専門領域における研究の背景から最新の研究展開等を教授するとともに実験・実習を行い、学生に対して各専門領域における最新の研究論文の精読も課す。 【滋賀医科大学】 (1 石垣 診祐) 神経診断治療学について指導を行う。 (15 漆谷 真) 脳神経内科学について指導を行う。 (16 尾關 祐二) 精神医学について指導を行う。 (17 吉田 和道) 脳神経外科学について指導を行う。 (18 北川 裕利) 麻酔学について指導を行う。 (19 渡邊 嘉之) 放射線医学について指導を行う。 (20 宇田川 潤) 生体機能形態学について指導を行う。 (21 勝山 裕) 神経形態学について指導を行う。 (22 小川 正晃) 生体システム生理学について指導を行う。 (35 柳沢 大治郎) 神経診断治療学について指導を行う。 (50 橋本 翔子) アルツハイマー病の進行について指導を行う。 (51 寺島 智也) 脳神経内科学について指導を行う。 (52 藤井 久彌子) 精神医学について指導を行う。 (53 大脇 成広) 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学について指導を行う。 (54 深見 忠輝) 脳神経外科学について指導を行う。 (55 金田 勇人) 神経形態学について指導を行う。 【マレーシア国民大学】 (2 Tan Hui Jan) 神経内科学について指導を行う。 (3 Norlinah Mohd Ibrahim) 神経内科学について指導を行う。 (27 Jayakumar A/L Murthy) 生理学について指導を行う。 (28 Rabani Remli) 神経学について指導を行う。 (29 Teoh Seong Lin) 解剖学について指導を行う。	共同開設科目

科目 区分	開設大学	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
先端 老化 研究 科目	滋賀医科大学・マ レーシア 国民大学	加齢とがん		アジア地域における高齢化問題の現状について学修し、エイジングサイエンスに関する研究成果を国際学術誌に発表するため、加齢によって増加するがんを対象に、その病態を解析するとともに、その予防法、診断法、治療法について検討する。各教員は、それぞれの専門領域における研究の背景から最新の研究展開等を教授するとともに実験・実習を行い、学生に対して各専門領域における最新の研究論文の精読も課す。 【滋賀医科大学】 (10 縣 保年) 分子生理化学について指導を行う。 (23 醍醐 弥太郎) 臨床腫瘍学について指導を行う。 (24 向所 賢一) 病理学について指導を行う。 (25 村田 誠) 血液内科学について指導を行う。 (26 丸尾 良浩) 小児科学について指導を行う。 (27 藤本 徳毅) 皮膚科学について指導を行う。 (28 高岡 一樹) 歯科口腔外科学について指導を行う。 (29 影山 進) 泌尿器科学について指導を行う。 (30 川崎 拓) 整形外科科学について指導を行う。 (31 清水 智治) 消化器外科学について指導を行う。 (56 旦部 幸博) 微生物感染症学について指導を行う。 (57 山口 将史) 呼吸器内科学について指導を行う。 (58 稲富 理) 消化器内科学について指導を行う。 (59 森 幹士) 整形外科科学について指導を行う。 (60 辻 俊一郎) 産科学婦人科学について指導を行う。 (61 児玉 成人) 整形外科科学について指導を行う。 (62 花岡 淳) 呼吸器外科学について指導を行う。 (63 園田 明永) 放射線医学について指導を行う。 (64 森谷 鈴子) 病理診断学について指導を行う。 (65 山田 篤史) 先端医療機器開発について指導を行う。 (66 仲山 貴永) 人体病理学について指導を行う。 【マレーシア国民大学】 (4 Norfilza Mohd Mokhtar) 生理学について指導を行う。 (5 Nasir Mohd Shafiee) 産婦人科学について指導を行う。 (30 Rizuana Iqbal Hussain) 放射線医学について指導を行う。 (31 Chew Kah Teik) 産婦人科学について指導を行う。	共同開設科目

科目区分	開設大学	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
先端老化研究科目	滋賀医科大学・マレーシア国民大学	加齢と生活習慣病		アジア地域における高齢化問題の現状について学修し、エイジングサイエンスに関する研究成果を国際学術誌に発表するため、加齢によって増加する高血圧、心臓疾患、糖尿病、高脂質血症などの生活習慣病を対象に、その病態を解析するとともに、その予防法、診断法、治療法について検討する。各教員は、それぞれの専門領域における研究の背景から最新の研究展開等を教授するとともに実験・実習を行い、学生に対して各専門領域における最新の研究論文の精読も課す。 【滋賀医科大学】 (2 芦原 貴司) 循環器内科学について指導を行う。 (3 扇田 久和) 分子病態生化学について指導を行う。 (9 笠間 周) 循環器内科学について指導を行う。 (32 久米 真司) 糖尿病内分泌・腎臓内科学について指導を行う。 (33 鈴木 友彰) 心臓血管外科学について指導を行う。 (39 大野 美紀子) 薬理学について指導を行う。 (40 門田 文) 予防医学について指導を行う。 (67 佐藤 朗) 分子病態生化学について指導を行う。 (68 原田 亜紀子) 医療統計学について指導を行う。 (69 辻田 靖之) 救急集中治療医学について指導を行う。 (70 小川 恵美子) 呼吸器内科学について指導を行う。 【マレーシア国民大学】 (6 Norlaila Mustafa) 内分泌内科学について指導を行う。 (7 Norlela Sukor) 内分泌内科学について指導を行う。 (8 Tan Geok Chin) 病理学について指導を行う。 (9 Zaleha Mahdi) 産婦人科学について指導を行う。 (32 Amilia Aminuddin) 生理学・心臓血管外科学について指導を行う。 (33 Azizah Ugusman) 生理学・心臓血管外科学について指導を行う。 (34 Mohd Helmy Mokhtar) 家庭医学について指導を行う。 (35 Siti Fatimah Ibrahim) 生理学について指導を行う。 (36 Mohd Fairuz Ali) 家庭医学について指導を行う。 (37 Norasyikin A Wahab) 内分泌内科学について指導を行う。	共同開設科目

授 業 科 目 の 概 要 （ 国 際 連 携 学 科 等 ）					
（滋賀医科大学・マレーシア国民大学国際連携エイジングサイエンス専攻）（滋賀医科大学）					
科目 区分	開設大学	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
基礎 基幹 科目	滋賀医科大学	医学総合特論		医学研究者として必要な専門的知識と研究技術を修得するため、医学生命科学分野の研究における専門的知識、研究技術、基本的な方法論を教授する。その上で、基礎医学分野の進歩から臨床医学への応用の意義や社会科学、行動科学を正しく理解する。各講義においては、各専門分野の研究者から最新の研究成果について教授する。また、基礎医学研究や臨床医学の場での情報交流や発表において必要となる科学的修練や熟練法を解説する。研究成果が医学を含む科学の発展に真に貢献し、社会的に信頼されるためには、医学倫理、研究倫理に則った研究実施が必須である。したがって、これらの倫理について十分に学修して理解し、身につけた倫理観をもとに自立して研究を遂行できるようにする。 （オムニバス方式／全22回） （1 石垣 診祐／2回） Alzheimer病と他の主要疾患の基本病態や治療法開発に通底する基本的かつ根源的な問いについて講義を行う。 （2 芦原 貴司／1回） 文献検索と学術情報リソースについて講義を行う。 （3 扇田 久和／1回） がん、循環器疾患におけるシグナル伝達機構について講義を行う。 （3 扇田 久和・6 加藤 穰／1回） 英文での医学論文作成について講義を行う。 （4 伊藤 靖／2回） ・基礎医学の研究技法と最新の研究成果について講義を行う。 ・霊長類モデルを用いた感染症研究について講義を行う。 （5 依馬 正次／1回） 実験動物と動物実験の倫理について講義を行う。 （6 加藤 穰／1回） 研究倫理について講義を行う。 （7 古荘 義雄／1回） ナノ科学と医用材料について講義を行う。 （34 早川 晃一／1回） 自身の研究の進め方を考える上での手がかりとすべく、医療イノベーション推進のための研究戦略について講義を行う。 （35 柳沢 大治郎／1回） 研究倫理について講義を行う。 （36 守村 敏史／1回） 動物生命科学研究センターにおける実験動物の取扱いについて講義を行う。 （37 朝比奈 欣治／6回） ・免疫組織化学について、講義を行う。 ・Magnetic Resonance Imaging (MRI)を用いた動物のイメージングについて講義を行う。 ・共焦点顕微鏡とその使用方法について講義を行う。 ・核磁気共鳴分光法と質量分析法の原理と活用方法について講義を行う。 ・フローサイトメーターとセルソーターの活用法について講義を行う。 ・細胞培養について講義を行う。 （38 里岡 大樹／1回） 適応免疫の動態について講義を行う。 （39 大野 美紀子／1回） ナルディライジンの同定から、遺伝子改変動物の作製・表現型解析、動物モデルや臨床検体を用いた疾患における役割の検証について講義を行う。 （40 門田 文／1回） 循環器疾患予防のための疫学的研究について講義を行う。 （41 成瀬 延康／1回） ナノテクノロジーについて講義を行う。	オムニバス方式
	滋賀医科大学	医学・生命倫理学概論		医学・生命科学の研究を行うに際しての生命倫理の原則的考え方を学修し、人間の尊厳・人権の理解に係わる倫理的な問題を理解する。特に、Principles of Biomedical Ethics (Beauchamp TL & Childress JF著) で提唱されている「生命倫理の4原則」(Respect for autonomy, non-maleficence, beneficence, justice) に関する十分な理解が必要である。	

科目 区分	開設大学	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
基礎 基幹 科目	滋賀医科大学	日本語と日本文化研究		自国とは異なるアジアの国・民族の歴史や文化を学び、多様性を理解するための一環として、日本語及び日本の文化・社会のあり方について幅広く学修する。また、国際共同研究を行うに際して、日本での研究生活で必要となる実践的日本語を身につける。日本語の語彙・文法等の言語知識を学び、座学、グループワーク、プレゼンテーションなどを通して、自身の経験や考えを表現する能力を涵養するほか、日本の文化および社会について理解を深める。教員は必要に応じて英語を用いる。 (オムニバス方式／全23回) (6 加藤 穰／15回) 語学について演習を行う。 (8 大北 全俊／4回) 社会文化について演習を行う。 (34 早川 晃一／4回) 企業文化について演習を行う。	オムニバス方式
	滋賀医科大学	日本における老化学研究		超高齢社会を迎えた日本における社会的影響、その社会的影響に係わる身体機能の低下などについて研究し、多くの高齢者が傷病なく健康で自立して生活できる方策などに関する新たな知見を探索する。また、エイジングサイエンスの先行研究に関して幅広くその背景を理解し、その研究分野に関する洞察を深めるため、レビュー論文の作成に取り組む。 (オムニバス方式／全45回) (3 扇田 久和／5回) 上記目的に応じた分子病態生化学について指導を行う。 (6 加藤 穰／5回) 上記目的に応じた医療文化及び生命倫理について指導を行う。 (10 縣 保年／25回) 上記目的に応じた分子生理化学について指導を行う。 (37 朝比奈 欣治／5回) 上記目的に応じた肝臓疾患について指導を行う。 (38 里岡 大樹／5回) 上記目的に応じた生物学について指導を行う。	オムニバス方式

科目 区分	開設大学	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
先端 老化 研究 科目	滋賀医科大学・マレーシア 国民大学	老化の病態科学 と社会医学		アジア地域における高齢化問題の現状について学修し、エイジングサイエンスに関する研究成果を国際学術誌に発表するため、遺伝子・タンパク質といった分子レベルから、細胞・組織、個体レベルまで、加齢によって生じる変化を解析し、その結果として生じる疾患の病態を解析する。また、加齢によって引き起こされる交通事故や労働災害のメカニズムを解析し、その防止策を検討する。各教員は、それぞれの専門領域における研究の背景から最新の研究展開等を教授するとともに実験・実習を行い、学生に対して各専門領域における最新の研究論文の精読も課す。 【滋賀医科大学】 (4 伊藤 靖) 疾患制御病態学について指導を行う。 (5 依馬 正次) 幹細胞・ヒト疾患モデルについて指導を行う。 (6 加藤 穰) 医療文化及び生命倫理について指導を行う。 (7 古荘 義雄) 化学について指導を行う。 (8 大北 全俊) 哲学・倫理学について指導を行う。 (11 森田 真也) 薬学について指導を行う。 (12 一杉 正仁) 法医学について指導を行う。 (13 伊藤 俊之) 消化器内科学について指導を行う。 (14 塩見 直人) 救急集中治療医学について指導を行う。 (36 守村 敏史) ヒト疾患モデルについて指導を行う。 (37 朝比奈 欣治) 肝臓疾患について指導を行う。 (38 里岡 大樹) 生物学について指導を行う。 (41 成瀬 延康) 物理学について指導を行う。 (42 築山 智之) 発生工学、生殖・幹細胞生物学について指導を行う。 (43 本山 一隆) データサイエンスと数値シミュレーションについて指導を行う。 (44 川北 素子) データサイエンスについて指導を行う。 (45 小島 隆次) 老年心理学について指導を行う。 (46 石垣 宏仁) 疾患制御病態学について指導を行う。 (47 池田 義人) 薬学について指導を行う。 (48 中村 磨美) 法医学について指導を行う。 (49 北原 照代) 衛生学について指導を行う。 【マレーシア国民大学】 (1 Suzana Makpol) 生化学について指導を行う。 (16 Goon Jo Aan) 生化学について指導を行う。 (17 Saharuddin Ahmad) 家庭医学について指導を行う。 (18 Azman Abdullah) 薬理学について指導を行う。 (19 Hashim Embong) 救急医学について指導を行う。	共同開設科目

科目 区分	開設大学	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
先端 老化 研究 科目	滋賀医科大学・マレーシア国民大学	老化の病態科学と社会医学		(20 Aznida Firzah Abdul Aziz) 家庭医学について指導を行う。 (21 Chin Kok Yong) 薬理学について指導を行う。 (22 Ahmad Khaldun Ismail) 救急医学について指導を行う。 (23 Tan Jen Kit) 生化学について指導を行う。 (24 Norliza Muhammad) 薬理学について指導を行う。 (25 Badrul Akmal Hisham Md Yusoff) 整形外科学について指導を行う。 (26 Tan Toh Leong) 救急医学について指導を行う。	共同開設科目
	滋賀医科大学・マレーシア国民大学	加齢神経科学		アジア地域における高齢化問題の現状について学修し、エイジングサイエンスに関する研究成果を国際学術誌に発表するため、加齢によって増加する認知症、神経変性疾患、脳血管障害などを対象に、その病態を解析するとともに、その予防法、診断法、治療法について検討する。各教員は、それぞれの専門領域における研究の背景から最新の研究展開等を教授するとともに実験・実習を行い、学生に対して各専門領域における最新の研究論文の精読も課す。 【滋賀医科大学】 (1 石垣 診祐) 神経診断治療学について指導を行う。 (15 漆谷 真) 脳神経内科学について指導を行う。 (16 尾關 祐二) 精神医学について指導を行う。 (17 吉田 和道) 脳神経外科学について指導を行う。 (18 北川 裕利) 麻酔学について指導を行う。 (19 渡邊 嘉之) 放射線医学について指導を行う。 (20 宇田川 潤) 生体機能形態学について指導を行う。 (21 勝山 裕) 神経形態学について指導を行う。 (22 小川 正晃) 生体システム生理学について指導を行う。 (35 柳沢 大治郎) 神経診断治療学について指導を行う。 (50 橋本 翔子) アルツハイマー病の進行について指導を行う。 (51 寺島 智也) 脳神経内科学について指導を行う。 (52 藤井 久彌子) 精神医学について指導を行う。 (53 大脇 成広) 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学について指導を行う。 (54 深見 忠輝) 脳神経外科学について指導を行う。 (55 金田 勇人) 神経形態学について指導を行う。 【マレーシア国民大学】 (2 Tan Hui Jan) 神経内科学について指導を行う。 (3 Norlinah Mohd Ibrahim) 神経内科学について指導を行う。 (27 Jayakumar A/L Murthy) 生理学について指導を行う。 (28 Rabani Remli) 神経学について指導を行う。 (29 Teoh Seong Lin) 解剖学について指導を行う。	共同開設科目

科目 区分	開設大学	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
先端 老化 研究 科目	滋賀医科大学・マ レーシア 国民大学	加齢とがん		アジア地域における高齢化問題の現状について学修し、エイジングサイエンスに関する研究成果を国際学術誌に発表するため、加齢によって増加するがんを対象に、その病態を解析するとともに、その予防法、診断法、治療法について検討する。各教員は、それぞれの専門領域における研究の背景から最新の研究展開等を教授するとともに実験・実習を行い、学生に対して各専門領域における最新の研究論文の精読も課す。 【滋賀医科大学】 (10 縣 保年) 分子生理化学について指導を行う。 (23 醍醐 弥太郎) 臨床腫瘍学について指導を行う。 (24 向所 賢一) 病理学について指導を行う。 (25 村田 誠) 血液内科学について指導を行う。 (26 丸尾 良浩) 小児科学について指導を行う。 (27 藤本 徳毅) 皮膚科学について指導を行う。 (28 高岡 一樹) 歯科口腔外科学について指導を行う。 (29 影山 進) 泌尿器科学について指導を行う。 (30 川崎 拓) 整形外科科学について指導を行う。 (31 清水 智治) 消化器外科学について指導を行う。 (56 旦部 幸博) 微生物感染症学について指導を行う。 (57 山口 将史) 呼吸器内科学について指導を行う。 (58 稲富 理) 消化器内科学について指導を行う。 (59 森 幹士) 整形外科科学について指導を行う。 (60 辻 俊一郎) 産科学婦人科学について指導を行う。 (61 児玉 成人) 整形外科科学について指導を行う。 (62 花岡 淳) 呼吸器外科学について指導を行う。 (63 園田 明永) 放射線医学について指導を行う。 (64 森谷 鈴子) 病理診断学について指導を行う。 (65 山田 篤史) 先端医療機器開発について指導を行う。 (66 仲山 貴永) 人体病理学について指導を行う。 【マレーシア国民大学】 (4 Norfilza Mohd Mokhtar) 生理学について指導を行う。 (5 Nasir Mohd Shafiee) 産婦人科学について指導を行う。 (30 Rizuana Iqbal Hussain) 放射線医学について指導を行う。 (31 Chew Kah Teik) 産婦人科学について指導を行う。	共同開設科目

科目 区分	開設大学	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
先端 老化 研究 科目	滋賀医科大学・マレーシア 国民大学	加齢と生活習慣 病		アジア地域における高齢化問題の現状について学修し、エイジングサイエンスに関する研究成果を国際学術誌に発表するため、加齢によって増加する高血圧、心臓疾患、糖尿病、高脂質血症などの生活習慣病を対象に、その病態を解析するとともに、その予防法、診断法、治療法について検討する。各教員は、それぞれの専門領域における研究の背景から最新の研究展開等を教授するとともに実験・実習を行い、学生に対して各専門領域における最新の研究論文の精読も課す。 【滋賀医科大学】 (2 芦原 貴司) 循環器内科学について指導を行う。 (3 扇田 久和) 分子病態生化学について指導を行う。 (9 笠間 周) 循環器内科学について指導を行う。 (32 久米 真司) 糖尿病内分泌・腎臓内科学について指導を行う。 (33 鈴木 友彰) 心臓血管外科学について指導を行う。 (39 大野 美紀子) 薬理学について指導を行う。 (40 門田 文) 予防医学について指導を行う。 (67 佐藤 朗) 分子病態生化学について指導を行う。 (68 原田 亜紀子) 医療統計学について指導を行う。 (69 辻田 靖之) 救急集中治療医学について指導を行う。 (70 小川 恵美子) 呼吸器内科学について指導を行う。 【マレーシア国民大学】 (6 Norlaila Mustafa) 内分泌内科学について指導を行う。 (7 Norlela Sukor) 内分泌内科学について指導を行う。 (8 Tan Geok Chin) 病理学について指導を行う。 (9 Zaleha Mahdi) 産婦人科学について指導を行う。 (32 Amilia Aminuddin) 生理学・心臓血管外科学について指導を行う。 (33 Azizah Ugusman) 生理学・心臓血管外科学について指導を行う。 (34 Mohd Helmy Mokhtar) 家庭医学について指導を行う。 (35 Siti Fatimah Ibrahim) 生理学について指導を行う。 (36 Mohd Fairuz Ali) 家庭医学について指導を行う。 (37 Norasyikin A Wahab) 内分泌内科学について指導を行う。	共同開設科目

授 業 科 目 の 概 要 （ 国 際 連 携 学 科 等 ）					
（滋賀医科大学・マレーシア国民大学国際連携エイジングサイエンス専攻）（マレーシア国民大学）					
科目 区分	開設大学	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
基礎 基幹 科目	マレーシア国民大学	研究手法概論		医学研究者として必要な専門的知識と研究技術を修得するため、医学分野の研究において、科学的かつ体系的な方法論に基づいて適切な研究計画書を作成するスキルを身につける。研究タイトル、目的、デザイン、リサーチクエスション、仮説、正当化など、研究調査に関する理解を深め、研究調査におけるサンプリング方法や統計分析についても概観し、文献講読や学術雑誌の評価、科学的な文章作成に関する知識についても学修する。また、研究倫理についての十分な知識と倫理観を学修する。 （オムニバス方式／全40回） （1 Suzana Makpol／1回） 研究目的について講義を行う。 （8 Tan Geok Chin／2回） ・論文執筆入門について講義を行う。 ・査読および修正について講義を行う。 （10 Zaleha Md Isa／1回） サンプリングについて、講義を行う。 （11 Shamsul Azhar Shah／1回） サンプルサイズについて、講義を行う。 （12 Mohd Shahrir Mohamed Said／4回） ・同意書について講義を行う。 ・試験対象者の情報について講義を行う。 ・ヒトを対象とした研究における倫理について講義を行う。 ・研究の承認申請について講義を行う。 （13 Sharifa Ezat Wan Puteh／1回） 単変量解析について講義を行う。 （14 Cheah Fook Choe／1回） 盗用などの研究倫理について講義を行う。 （15 Mohd Rizal Abdul Manaf／1回） 統計解析総論について講義を行う。 （21 Chin Kok Yong／1回） 批判的評価について講義を行う。 （23 Tan Jen Kit／1回） 研究手法総論について講義を行う。 （27 Jayakumar A/L Murthy／1回） 文献レビューについて講義を行う。 （38 Ani Amelia Zainuddin／1回） 研究計画概論について講義を行う。 （39 Ixora Kamisan @ Atan／2回） ・横断研究について講義を行う。 ・横断研究Q&Aセッション （40 Law Zhe Kang／1回） 症例対照研究について講義を行う。 （41 Syahrul Sazliana Shaharir／1回） コホート研究について講義を行う。 （42 Tan Chai Eng／1回） 定性的研究について講義を行う。 （43 Nani Harlina Md Latar／2回） ・実験的研究・臨床試験について講義を行う。 ・臨床試験における方法の記述について講義を行う。 （44 Kamisah Yusof／1回） 研究の妥当性について講義を行う。 （45 Mohd Rohaizat Hassan／1回） 二変量解析について講義を行う。 （46 Nazarudin Safian／1回） 重回帰について講義を行う。 （47 Mohd Fauzi Mh Busra／1回） 研究計画書の執筆と参照スタイルについて講義を行う。 （48 Rosnah Sutan／1回） パラメトリックおよびノンパラメトリック検定について講義を行う。 （49 Isma Liza Mohd Isa／1回） 研究主題の決定方法について講義を行う。 （50 Nadiah Sulaiman／1回） 研究目的の決定方法について講義を行う。	オムニバス方式

科目区分	開設大学	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
基礎基幹科目	マレーシア国民大学	研究手法概論		(51 Manira Maarof／1回) 課題の提示について講義を行う。 (52 Faiz Daud／1回) 観察法の記述について講義を行う。 (53 Zulkarnain Md Idris／1回) 研究のフローチャートと概念的枠組みについて講義を行う。 (54 Mohamad Nurman Yaman／1回) 質問表の計画と検証について講義を行う。 (55 Anisah Nordin／1回) 動物実験における倫理について講義を行う。 (56 Shalisah Sharip／1回) 学術雑誌の選択について講義を行う。 (57 Law Jia Xian／1回) 研究仮説について講義を行う。 (58 Fazlina Nordin／1回) 実験室における方法の記述について講義を行う。 (59 Nur Atiqah Haizum／1回) プレゼンテーションスキルについて講義を行う。 (61 Azlan Mohamad Hamzah／1回) 情報検索について講義を行う。	
	マレーシア国民大学	マレー語とマレーシア文化研究		自国とは異なるアジアの国・民族の歴史や文化を学び、多様性を理解するための一環として、マレー語及びマレーシアの文化・社会のあり方について幅広く学修する。また、国際共同研究を行うに際して、マレーシアでの研究生活で必要となる実践的マレー語を身につける。 マレー語の語彙・文法等の言語知識を学び、座学、グループワーク、プレゼンテーションなどを通して、自身の経験や考えを表現する能力を涵養するほか、マレーシアの文化および社会について理解を深める。教員は必要に応じて英語を用いる。	
	マレーシア国民大学	マレーシアにおける老化学研究		経済発展に伴う平均寿命の延伸で高齢者人口が急増しているマレーシアにおける社会的影響、その社会的影響に係わる身体機能の低下などについて研究し、多くの高齢者が傷病なく健康で自立して生活できる方策などに関する新たな知見を探索する。また、エイジングサイエンスの先行研究に関して幅広くその背景を理解し、その研究分野に関する洞察を深めるため、レビュー論文の作成に取り組む。 (オムニバス方式／全45回) (1 Suzana Makpol／24回) 上記目的に応じた生化学について指導を行う。 (4 Norfilza Mohd Mokhtar／7回) 上記目的に応じた生理学について指導を行う。 (6 Norlaila Mustafa／7回) 上記目的に応じた内分泌内科学について指導を行う。 (28 Rabani Remli／7回) 上記目的に応じた神経学について指導を行う。	オムニバス方式

科目 区分	開設大学	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
先端 老化 研究 科目	滋賀医科大学・マレーシア 国民大学	老化の病態科学 と社会医学		アジア地域における高齢化問題の現状について学修し、エイジングサイエンスに関する研究成果を国際学術誌に発表するため、遺伝子・タンパク質といった分子レベルから、細胞・組織、個体レベルまで、加齢によって生じる変化を解析し、その結果として生じる疾患の病態を解析する。また、加齢によって引き起こされる交通事故や労働災害のメカニズムを解析し、その防止策を検討する。各教員は、それぞれの専門領域における研究の背景から最新の研究展開等を教授するとともに実験・実習を行い、学生に対して各専門領域における最新の研究論文の精読も課す。 【滋賀医科大学】 (4 伊藤 靖) 疾患制御病態学について指導を行う。 (5 依馬 正次) 幹細胞・ヒト疾患モデルについて指導を行う。 (6 加藤 穰) 医療文化及び生命倫理について指導を行う。 (7 古荘 義雄) 化学について指導を行う。 (8 大北 全俊) 哲学・倫理学について指導を行う。 (11 森田 真也) 薬学について指導を行う。 (12 一杉 正仁) 法医学について指導を行う。 (13 伊藤 俊之) 消化器内科学について指導を行う。 (14 塩見 直人) 救急集中治療医学について指導を行う。 (36 守村 敏史) ヒト疾患モデルについて指導を行う。 (37 朝比奈 欣治) 肝臓疾患について指導を行う。 (38 里岡 大樹) 生物学について指導を行う。 (41 成瀬 延康) 物理学について指導を行う。 (42 築山 智之) 発生工学、生殖・幹細胞生物学について指導を行う。 (43 本山 一隆) データサイエンスと数値シミュレーションについて指導を行う。 (44 川北 素子) データサイエンスについて指導を行う。 (45 小島 隆次) 老年心理学について指導を行う。 (46 石垣 宏仁) 疾患制御病態学について指導を行う。 (47 池田 義人) 薬学について指導を行う。 (48 中村 磨美) 法医学について指導を行う。 (49 北原 照代) 衛生学について指導を行う。 【マレーシア国民大学】 (1 Suzana Makpol) 生化学について指導を行う。 (16 Goon Jo Aan) 生化学について指導を行う。 (17 Saharuddin Ahmad) 家庭医学について指導を行う。 (18 Azman Abdullah) 薬理学について指導を行う。 (19 Hashim Embong) 救急医学について指導を行う。	共同開設科目

科目 区分	開設大学	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
先端 老化 研究 科目	滋賀医科大学・マレーシア国民大学	老化の病態科学と社会医学		(20 Aznida Firzah Abdul Aziz) 家庭医学について指導を行う。 (21 Chin Kok Yong) 薬理学について指導を行う。 (22 Ahmad Khaldun Ismail) 救急医学について指導を行う。 (23 Tan Jen Kit) 生化学について指導を行う。 (24 Norliza Muhammad) 薬理学について指導を行う。 (25 Badrul Akmal Hisham Md Yusoff) 整形外科学について指導を行う。 (26 Tan Toh Leong) 救急医学について指導を行う。	共同開設科目
	滋賀医科大学・マレーシア国民大学	加齢神経科学		アジア地域における高齢化問題の現状について学修し、エイジングサイエンスに関する研究成果を国際学術誌に発表するため、加齢によって増加する認知症、神経変性疾患、脳血管障害などを対象に、その病態を解析するとともに、その予防法、診断法、治療法について検討する。各教員は、それぞれの専門領域における研究の背景から最新の研究展開等を教授するとともに実験・実習を行い、学生に対して各専門領域における最新の研究論文の精読も課す。 【滋賀医科大学】 (1 石垣 診祐) 神経診断治療学について指導を行う。 (15 漆谷 真) 脳神経内科学について指導を行う。 (16 尾關 祐二) 精神医学について指導を行う。 (17 吉田 和道) 脳神経外科学について指導を行う。 (18 北川 裕利) 麻酔学について指導を行う。 (19 渡邊 嘉之) 放射線医学について指導を行う。 (20 宇田川 潤) 生体機能形態学について指導を行う。 (21 勝山 裕) 神経形態学について指導を行う。 (22 小川 正晃) 生体システム生理学について指導を行う。 (35 柳沢 大治郎) 神経診断治療学について指導を行う。 (50 橋本 翔子) アルツハイマー病の進行について指導を行う。 (51 寺島 智也) 脳神経内科学について指導を行う。 (52 藤井 久彌子) 精神医学について指導を行う。 (53 大脇 成広) 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学について指導を行う。 (54 深見 忠輝) 脳神経外科学について指導を行う。 (55 金田 勇人) 神経形態学について指導を行う。 【マレーシア国民大学】 (2 Tan Hui Jan) 神経内科学について指導を行う。 (3 Norlinah Mohd Ibrahim) 神経内科学について指導を行う。 (27 Jayakumar A/L Murthy) 生理学について指導を行う。 (28 Rabani Remli) 神経学について指導を行う。 (29 Teoh Seong Lin) 解剖学について指導を行う。	共同開設科目

科目 区分	開設大学	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
先端 老化 研究 科目	滋賀医科大学・マ レーシア 国民大学	加齢とがん		アジア地域における高齢化問題の現状について学修し、エイジングサイエンスに関する研究成果を国際学術誌に発表するため、加齢によって増加するがんを対象に、その病態を解析するとともに、その予防法、診断法、治療法について検討する。各教員は、それぞれの専門領域における研究の背景から最新の研究展開等を教授するとともに実験・実習を行い、学生に対して各専門領域における最新の研究論文の精読も課す。 【滋賀医科大学】 (10 縣 保年) 分子生理化学について指導を行う。 (23 醍醐 弥太郎) 臨床腫瘍学について指導を行う。 (24 向所 賢一) 病理学について指導を行う。 (25 村田 誠) 血液内科学について指導を行う。 (26 丸尾 良浩) 小児科学について指導を行う。 (27 藤本 徳毅) 皮膚科学について指導を行う。 (28 高岡 一樹) 歯科口腔外科学について指導を行う。 (29 影山 進) 泌尿器科学について指導を行う。 (30 川崎 拓) 整形外科科学について指導を行う。 (31 清水 智治) 消化器外科学について指導を行う。 (56 旦部 幸博) 微生物感染症学について指導を行う。 (57 山口 将史) 呼吸器内科学について指導を行う。 (58 稲富 理) 消化器内科学について指導を行う。 (59 森 幹士) 整形外科科学について指導を行う。 (60 辻 俊一郎) 産科学婦人科学について指導を行う。 (61 児玉 成人) 整形外科科学について指導を行う。 (62 花岡 淳) 呼吸器外科学について指導を行う。 (63 園田 明永) 放射線医学について指導を行う。 (64 森谷 鈴子) 病理診断学について指導を行う。 (65 山田 篤史) 先端医療機器開発について指導を行う。 (66 仲山 貴永) 人体病理学について指導を行う。 【マレーシア国民大学】 (4 Norfilza Mohd Mokhtar) 生理学について指導を行う。 (5 Nasir Mohd Shafiee) 産婦人科学について指導を行う。 (30 Rizuana Iqbal Hussain) 放射線医学について指導を行う。 (31 Chew Kah Teik) 産婦人科学について指導を行う。	共同開設科目

科目 区分	開設大学	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
先端 老化 研究 科目	滋賀医科大学・マ レーシア 国民大学	加齢と生活習慣 病		アジア地域における高齢化問題の現状について学修し、エイジングサイエンスに関する研究成果を国際学術誌に発表するため、加齢によって増加する高血圧、心臓疾患、糖尿病、高脂質血症などの生活習慣病を対象に、その病態を解析するとともに、その予防法、診断法、治療法について検討する。各教員は、それぞれの専門領域における研究の背景から最新の研究展開等を教授するとともに実験・実習を行い、学生に対して各専門領域における最新の研究論文の精読も課す。 【滋賀医科大学】 (2 芦原 貴司) 循環器内科学について指導を行う。 (3 扇田 久和) 分子病態生化学について指導を行う。 (9 笠間 周) 循環器内科学について指導を行う。 (32 久米 真司) 糖尿病内分泌・腎臓内科学について指導を行う。 (33 鈴木 友彰) 心臓血管外科学について指導を行う。 (39 大野 美紀子) 薬理学について指導を行う。 (40 門田 文) 予防医学について指導を行う。 (67 佐藤 朗) 分子病態生化学について指導を行う。 (68 原田 亜紀子) 医療統計学について指導を行う。 (69 辻田 靖之) 救急集中治療医学について指導を行う。 (70 小川 恵美子) 呼吸器内科学について指導を行う。 【マレーシア国民大学】 (6 Norlaila Mustafa) 内分泌内科学について指導を行う。 (7 Norlela Sukor) 内分泌内科学について指導を行う。 (8 Tan Geok Chin) 病理学について指導を行う。 (9 Zaleha Mahdi) 産婦人科学について指導を行う。 (32 Amilia Aminuddin) 生理学・心臓血管外科学について指導を行う。 (33 Azizah Ugusman) 生理学・心臓血管外科学について指導を行う。 (34 Mohd Helmy Mokhtar) 家庭医学について指導を行う。 (35 Siti Fatimah Ibrahim) 生理学について指導を行う。 (36 Mohd Fairuz Ali) 家庭医学について指導を行う。 (37 Norasyikin A Wahab) 内分泌内科学について指導を行う。	共同開設科目